

西濃桃李高等学校 通信教育実施計画

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2	単位
対象学年	第 1 学年					
授業担当者	安江 麻里					
使用教科書	東書「新編生物基礎」(生基 702)	副教材	ニューサポート新編生物基礎			
スクーリング	必要出席時間数	2 単位×4 = 8 時間以上	スクーリングとレポートを両方合格 することで履修が認められる。			
レポート	必要提出枚数	2 単位×3 = 6 枚				
期末試験	合格得点目標	20 点以上	考査範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件			

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などをもとに、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

【年間指導計画】 ※学習方法欄の○は週5週3、□は週1在宅・配当時間は週5生を基準とする。

月	指導単元・項目	学習方法			レポート (×切期日)	評価の観点			配当 時間
		スクーリング	レポート	試験		知	思	主	
4	1 編 生物の特徴 1 章 生物の多様性と共通性	○	○□		No.1	○	○	○	3
5	2 章 生物とエネルギー 2 編 遺伝子とそのはたらき 1 章 遺伝情報と DNA	○	○□		No.1 5/12 No.2	○	○	○	4 4
6	2 編 遺伝子とそのはたらき 2 章 遺伝情報とタンパク質の合成 3 編 ヒトの体の調節 1 章 ヒトの体を調節するしくみ(1~2 節 体内環境、神経系)	○□	○□		No.2 6/16 No.3	○	○	○	5 3
7	3 編 ヒトの体の調節 1 章 ヒトの体を調節するしくみ(3~4 節 内分泌、血糖濃度の調節)	○□	○□		No.3 7/14	○	○	○	4
8	試験対策								
9	前期期末試験 テスト直し 3 編 ヒトの体の調節 免疫のはたらき(1 節 免疫のしくみ)	○□	○□	○□		○	○	○	3
10	3 編 ヒトの体の調節 免疫のはたらき 2・3 節 免疫の応用、さまざまな疾患	○	○□		No.4 10/31	○	○	○	6
11	4 編 生物の多様性と生態系 1 章 植生と遷移	○□	○□		No.5 11/30	○	○	○	6
12	4 編 生物の多様性と生態系 2 章 生態系と生物の多様性 1 節 生態系における生物の多様性	○□	○□		No.6 12/15	○	○	○	4
1	2・3 節 生物間の関係、人為的かく乱) 試験対策	○□	○□			○	○	○	4 2
2	後期期末試験(1,2 年) テスト直し (4 節 保全) 結章 生物基礎と私たち	○□	○□	○□		○	○		2 5
3	一年間の総復習	○□	○□			○	○	○	4